

足利七福神巡り報告

【山行日】 2016年 1月 4日(月) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 7:30
【費 用】 マイカー1台 : 600円
【メンバー】 CL:鈴木、大西、梶内、島田、福田
【コースタイム】岩舟支所 P7:30=太平記館
P8:05/8:10~鑿阿寺 8:30~長尾弁天 8:50~
福巖寺 9:10~常念寺 9:20~長林寺 9:40~
西宮神社 10:00~両崖山 10:40/11:10~心通院
12:00~明石弁天 12:20~鑿阿寺 12:40~
太平記館 P12:50/13:00=岩舟支所 P13:30



年初恒例の七福神巡り、今年は足利市の七福神を巡ることにした。
太平記館駐車場に車を置き、最初の七福神「大黒天」が祀られている鑿阿寺に向かった。



国道293号線を歩道橋で渡ると、歩道橋の上から史跡「足利学校」が良く見え、足利学校をバックに記念写真を撮る。

足利学校の前を通り、石畳の整備された道を進み山門の桜門から鑿阿寺へ入る。

参道を進んだ正面に国宝の「本堂」があり、手前左手に天然記念物の「大銀杏」や重文の「多宝塔」がある。本堂にお参りしてから、左手にある大黒天を参拝し西門から出て長尾弁天に向かう。

足利信金の所を右に曲がり、そのまま直進すると20分くらいで長を弁天に着いた。七福神の中で唯一の女神であり、財宝利得をもたらす女神に一年間の財運を託して福巖寺へ向かった。福巖寺は1182年藤姓足利4代目忠綱が、父母の供養の為に創建したと言われる歴史ある寺。



本堂の右手前に布袋尊が祀られている。そこから毘沙門天が祀られている常念寺へ向かったが、常念寺はさらに古く1143年の創建とあるが、本堂はコンクリート造りで歴史を感じることは出来ない。毘沙門天も本堂の中で、

毎回お目にかかることが叶わない。ここから来た道を戻り、「さいこうふれあいセンター」の先を左折



し長林寺へ向かう。長林寺は足利長尾家の菩提所として、初代景人が創建した古刹で、織姫山麓に佇む雰囲気はご利益が得られそう。

本堂の脇に福祿寿尊が祀られ、今年一年の幸福と長寿をお願いする。寺から下り、出た道を右に進むとすぐに西宮神社の入口に着く。杉木立の参道石段を登り、真っすぐ進むと恵比寿神が祀られた拝殿に出る。境内の焚火で暖を取っていると、甘酒とお茶を振舞っていただいた。

境内から階段の手前の踏み跡を登ると、織姫山

の紅葉谷へ出て、さらに左に登ると両崖山へのハイキングコースにある展望台に出る。

尾根道を30分程歩くと両崖山山頂に着いた。山頂で記念写真を撮り、少し戻った展望所で早めのランチタイムとする。

先客の御夫婦が昼食を食べていたが、同席させていただき賑やかなランチとなった。

今日のメニューはお正月なので、特製の「お雑煮」とお稲荷さんに、出し巻き卵と豪華なランチ。

昼食後、下山は東側の本城町へ向かって降りて行く。舗装道へ出たら、そのまま真っすぐ南に向かい足利高校の先を左に曲がると寿老人が祀られた心通院へ着く。六角形のモダンな本堂の左手に、



寿老人が祀られている。長寿の神様に、健康長寿を心を込めてお願いした。

これで七福神巡りは終了したが、もう一つおまけの弁財天へ向かう。

心通院から来た道を少し戻り、足利高校からの道を左折し切通しを過ぎて200mほどで明石弁天に着く。明石弁天は「美人弁天」として知られ、女性の参拝者は「美人証明書」をいただける。男性も、奥様への土産に「美人証明書」を頂くことができる。



明石弁天から南進し、足利市役所の脇を通り鑢阿寺に戻った。鑢阿寺は朝とはうって変わり、大勢の参拝者で賑わっていた。門前の通りも観光客で賑わっており、我々もお土産店で土産を買ったり手焼きせんべいを試食したりとショッピングを楽しみ太平記館へ戻った。